大阪府立豊中中学校・豊中高等学校 同窓会報　　創立大正10年（1921年）

豊陵會報

Vol.106
2023年6月
（令和5年）

楽しい思い出は　文化祭での取り組みや　夏の写生旅行などの美術部での活動で
後の京都市立芸大進学へと繋がったのかもしれません
図書館の穏やかな空気や　本のにおいの記憶は浪人中の背中をくりかえし押してくれました
思い出の中には　いつもヒマラヤ杉がありました（高 19 期　長谷川綾子）

新会長に平野裕一さん（高32・前校長）

幅広い会員層の求心力めざし

若返り執行部で4月1日始動

新会長に平野裕一さん（高32期・前校長）

若返り執行部で4月1日始動

2月18日の豊陵会評議員会で新会長に高32・前校長の平野裕一さんが選ばれ、若手を中心とした新執行部が4月1日付でスタートした。

2021年に創立百周年事業を終えたあと、コロナの状況もあって豊陵会会長の後任者が決まらず、高坂会長の執行部が次期会長の決定まで任務を継続していたが、各方面からの就任要請を受け平野裕一さんが受諾、一挙に若返りの豊陵会執行部が生まれた。

副会長をはじめとする新執行部メンバーもこの日の評議員会で承認された。高16期中心の執行部から高32期の会長が中心のメンバーになり、今年75期の卒業生を会員に迎えた豊陵会の中心軸が大きく若返った。

豊陵会の新執行部メンバー

顧問	高16	高坂敬三	前会長
会長	高32	平野裕一	新任
副会長	高26	河村利行	留任（担当：IT推進部会、会員名簿）
副会長	高30	名和道紀	新任（担当：資料室部会、教育基金・元実行委員会監査）
副会長	高37	古川圭子	新任（担当：会報部会、豊陵会総会）
財務幹事	高46	森　拓哉	新任
会計監事	高21	平田明男	留任
	高32	橋田　浩	新任
総務部会長	高26	河村利行	（兼務）
IT推進部会長	高22	徳田　俊	新任（前総務部会長）
資料室部会長	高30	永井　裕	新任
会報部会長	高46	松本耕一	新任

2022年11月26日開催　第2回幹事・評議員会

事務局から2022年度途中の豊陵会活動報告・予算執行状況の報告、2023年度の活動計画案・暫定予算案の説明があった。いずれも次期会長の選任が遅れているため、高坂執行部が任期を延長したことにともなう措置が了承された。

2023年度暫定予算案などを承認

新会長選任は再度持越し

ついで高坂会長が次期会長選任交渉の経過を報告。年明けの幹事・評議員会までに決着したい旨述べ、それまで現執行部が任務を継続することも了承された。会長選出について出席者から選出方法などの提案や、具体的に個人名を出して推薦の意見があったが会長の交渉に一任された。

自由意見で総会の運営についても提案があった。参考資料として卒業期別の総会出席人数一覧が配布された。ここ数年の総会出席者は250～300名だが減少傾向にあり、40期前後からの出席が少ない。特にホームカミング招待期の出席は2008年35期生の90名を最高に毎年50～60名台。しかも招待翌年は1ケタの出席に減少することが浮き彫りになった。今後総会運営についての検討課題になろう。

2023年度開催　第1回幹事・評議員会

2月18日、ホテルアイボリーで62名出席

高坂会長が新会長選任の経過報告のあと満場の拍手で新会長に平野裕一さんを選出。

平野新会長は「親娘とも豊高生、豊高に教諭・校長として勤めた縁のうえに豊陵会の大役を担うことになり、同窓会の若返りと発展に努力したい」旨あいさつ。特に自分が教えた当時の生徒たちが今や40～50歳代、豊陵会の中核として活動してほしいと述べたあと新規スタートの役員会メンバーを紹介。

「総会を盛り上げるには？」

秋の総会に向って議論進める

ついで「今年の総会をより多数の出席で盛り上げるにはどうすればよいか」を出席者に意見を求め、呼びかけた。多くの発言・提言の結果、同会議に出席の幹事・評議員にアンケートを実施することが決った。

締めくくりに高坂会長が退任のあいさつ。百周年事業を無事に終えて退任の役員メンバーが起立するなか、拍手でご苦労を感謝した。

なお2022年度の正式決算と会計監査の報告内容が承認され。2023年度の活動計画と予算の執行は4月1日発足の平野新会長に引継がれた。

パッションで臨むミッション
「会員相互の親睦」「母校の発展」実現

会長　平野裕一（高32）

この4月からご縁があって大先輩の高坂敬三前会長から会長職を引き継ぐことになりました。歴代会長に比して浅学非才な私が会長職を担うことは、大変僭越なことではありますが、ご推挙いただいた以上、その重責を全うする所存です。

会長としての抱負は？と問われれば、会則に示されている本会のミッション（使命）である「会員相互の親睦をはかること」と「母校の発展を助けること」を、パッション（情熱）を持って実現することに尽きます。

具体的には、高校20～40期代を中心とした執行部にするとともに、評議員の皆様方のご意見も伺いながら総会の活性化を図り、先輩諸氏の世代の支えをいただきつつ、更に若い会員世代の方々に豊陵会への関心を持っていただけるよう会務を運営してまいります。また、創立100周年記念事業で多くの会員のみなさまからいただいたご寄付を原資とする「教育基金」（豊中高等学校教育後援会教育基金特別会計）の継続的・計画的な運用を進め、現役豊高生への支援をいたします。また、豊陵資料室に関しては、ここ10年間の豊高の歩みに関する展示物を整備するなど充実を図ってまいります。

ご案内の通り、私は2022年3月までの6年間（高校69～76期が在籍）、母校の第22代校長を務めさせていただきました。また、1985年から11年間（高校38～50期が在籍）、教員として多くの豊高生を見守って参りました。その繋がりを活かしつつ、会員の皆様方の期待に応えて参りたいと考えておりますので、どうかご支援・ご協力をお願い申しあげます。

「百周年記念」を終えて

顧問（前会長）　高坂敬三（高16）

今年は心なしか桜の季節が足早に通り過ぎ、地球温暖化のせいではないかとやきもきしておりますが、豊陵会会員の皆様にはご健勝でお過ごしの事と存じます。

さて、去る2月18日の幹事・評議員会において、前豊中高校校長の平野裕一氏が次年度豊陵会会長として選出され、4月1日より活動を開始される運びとなり、私は豊陵会会長としての最後の行事である3月1日の卒業式を終え、豊陵会会長を辞することとなりました。

永田前会長の懇請を受けて、会長職を引受けて以来、早や5年が経過しました。この間創立100周年という一大イベントが待ち受けており、寄付集め、豊陵ホールの改装、100周年記念誌の出版、加古隆コンサート等、数々の行事をこなしてまいりましたが、思いもよらない新型コロナウイルスの流行という、まさに自然災害に遭遇し、先行きを見通せない中で五里霧中の5年間でした。この間、会員の皆様方には多大なご協力を頂き、新型コロナウイルスという目に見えぬ敵との戦いの果てに、曲がりなりにも所期の目的を達成できたのは望外の喜びです。これもひとえに幹事・評議員会の皆様の温かい励ましと、16期挙げての惜しみないご協力の賜物と感謝しております。

この4月1日以降は一会員となって、蔭ながら平野次期会長を支えていく所存であります。豊陵会会員の皆様には、これまで同様に豊中高校愛を発揮して、先輩・同輩・後輩の絆を確かめていっていただきたいと思います。5年間本当に有難うございました。

新副会長あいさつ

河村利行（高26）

100周年記念事業をお手伝いさせていただくため、高坂前会長のもとで副会長を務めさせていただきました。会員の皆様にご協力いただき、100周年記念事業は成功裏に終わることができました。誠にありがとうございました。

平野新会長の下で、副会長も一新されるべきかとも思いましたが、100周年記念事業で開設された豊中高校教育基金等、今後も継続して取り組むべき課題もありますので、業務の継続性を鑑み、最年少の（といいましても60代後半ですが）副会長であった私が、再度、副会長を引き受けさせていただくことになりました。

平野会長の下で、与えられた役目を果たしたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

名和道紀（高30）

この4月より、平野会長より副会長を委嘱されました。卒業後の豊中高校とのつながりは、2018年から現在まで幹事を、また、100周記念事業実行委員会では監査を務めさせていただきました。

私の父も豊中中学（中学20回、2004年没）の卒業生で、私が豊中高校に合格した時にはとても喜んでくれましたので、今回の副会長就任もおおいに喜んでくれていると思います。

副会長としての抱負ですが、副会長の仕事は一にも二にも会長を補佐することに尽きると思います。具体的には会長挨拶にもあるとおり、総会の活性化、教育基金の適切な運用による現役豊高生の支援、資料室の整備等について、しっかりと会長をお支えして実現していきます。

古川圭子（高37）

母校を卒業した年に総会のお手伝いをしてからずっと、幹事として豊陵会の活動に関わってきました。最近は総会の司会を担当するだけで、申し訳ないと思っていたところ、平野新会長から副会長就任の打診がありました。私が豊高の2年生のとき、教育実習生として物理を教えてもらってから、母校の先生・府教委・そして校長先生と、長年お世話になってきた平野先生の申し出は絶対。力不足ながらお引き受けすることにしました。

同期の同窓会は楽しみだけど、総会は出たことがない。豊陵会って何してるの？そんな方がほとんどでしょう。先輩方に頼り切ってきた活動を、これからどう引き継いで行くのか、まずは少しでも多くの人に参加してもらうにはどうすればよいのか。幅広い世代の同窓生、そして現役の豊高生との繋がりを強め、「サステナブルな」豊陵会となるよう、私なりにアイディアを出して尽力できればと思っております。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

コロナ・14号台風接近

3年ぶりに豊陵会総会を開催

コロナ禍のため2年連続して開催中止の豊陵会総会が3年ぶりに2022年9月18日（日）ホテルアイボリーで開催された。出席者は例年の3分の1、98名にとどまったが音楽部生徒の出演演奏などで母校との一体感を実感する一日となった。

高坂会長は開会のあいさつでコロナのため総会が開催できずにいたが、この間、創立百周年の記念募金事業を始め、記念式典などを無事に終えたこと、記念事業決算の結果、剰余金は新たに「教育基金」として母校の生徒支援に充てることになったことを改めて報告。新体制のもとでいっそうの活動を進めることを誓った。

来賓の中原光子校長が母校の近況報告で、豊陵会からの支援に感謝を述べた後、「コロナ下にあっても学校運営は計画通りに進んでおり、6月の体育祭・7月の修学旅行などを無事に終え、生徒達も活気にあふれる日常を過している」と報告された。

ついで来賓の高12森本敏・元防衛相は母校で育まれたことどもに感謝するとともに、今の世界・社会情勢の中で、日本の良き伝統を後輩たちに引き継いでいく義務が我々先輩たちに残されている旨を述べた。

もう一人、来賓の高11中野寛成顧問はあいさつのほか、総会最後に全員の校歌斉唱の指揮を執るなど音楽好きを披露した。

懇親会はホームカミング25年の高47坪野正樹さんの乾杯発声で始まった。

恒例の特別出演は音楽部。春に入学してから演奏を始めたという1年生部員たちも加わっての熱演だった。

コロナで総会開催が2年中断され、高48・49期生のホームカミングが宙に浮いていたが、この日の参加者は少ないまま終了した形になった。2023年の総会でのホームカミングは高50期生、卒業50年のホームカミング・アゲインは高25期生が対象になる。

秋の総会を新たな形式で開催

5月20日、第2回幹事・評議員会で承認。前回懸案となった今年の総会開催は、新役員会で検討を重ねた提案内容が承認された。

9月23日（土）14:30 ～ 16:00総会（ホテルアイボリーで茶話会）、総会参加で希望される方の母校見学会（豊陵ホール・豊陵資料室）も13：00 ～ 14：00で準備されている。また総会後は、クラス会・同期会が16：30開始で開催できるように設定されている。

（詳細案内は本号の最終ページに掲載）

■第21回 豊陵会親睦ゴルフコンペ開く

昨年10月6日（木）、第21回豊陵会親睦ゴルフコンペが前回と同じ「箕面ゴルフ倶楽部」で開催されました。少し肌寒さを感じるもののさわやかな秋空のもと、高7期から高46期まで紅一点を含む25名が参加、雰囲気は和気あいあいですが本気の競技ゴルフを楽しまれました。シニアの部（高1～16期）と一般の部（高17期以降）に分け、ダブルペリア方式でハンディキャップを算定、順位が決まりました。

コロナ対応に留意しちょっとだけアルコールOKの懇親会も盛り上がる中、成績発表と表彰式。平井昭実行委員長（高11期）から、順位賞に加えてベストグロス賞、ニアピン賞が該当者に贈られました。

【成績】▼シニアの部（高1～16期）14名
優勝＝藤本仁孝さん（高14）、準優勝＝栗田昌宏さん（高14）、3位＝松尾昌昭さん（高16）
ベストグロス賞（88）＝鈴木莞爾さん（高15）
▼一般の部（高17期以降）11名
優勝＝延原耕三さん（高25）、準優勝＝片桐二郎さん（高22）、3位＝堀上直人さん（高44）
ベストグロス賞（86）＝延原耕三さん（高25）

今年は10月5日（木）箕面ゴルフ倶楽部で開催

第22回豊陵会親睦ゴルフコンペ

奮ってご参加ください

会場、競技方法、参加申し込み方法などの詳細は、
豊陵会ホームページ
（https://www.houryou.org）
豊陵会公式フェイスブック
（https://facebook.com/groups/1686870608250342/）
に6月下旬、案内の予定です。

豊中高校「教育基金」が正式スタート

「教育後援会規約」に設けた「教育基金特別会計細則」は、昨年度開催の豊陵会幹事・評議員会（4月23日）、豊友会幹事会（5月13日）、PTA定例総会（5月20日）において、それぞれの審議を経て無事承認された。

基金としては、昨年3月時点の寄付3,150万円に創立100周年記念事業実行委員会解散後に引継ぎされた残余財産65万円を併せた計3,215万円を元に今後も継続して会員からの支援を募っていくことになる。

教育後援会と豊陵会より選任された委員で構成する教育基金委員会では、基金の適切な運用を図れるように学校とも協議を重ねつつ、本年3月実施のSGHベトナムフィールドワークへの支援が最初となった。

大阪府立豊中高等学校教育後援会　教育基金特別会計細則

（名称）

第1条　大阪府立豊中高等学校教育後援会規約に基づき、特別会計として大阪府立豊中高等学校教育基金（以下「本基金」という）を置く。この特別会計は、大阪府立豊中高等学校創立100周年記念事業の一般寄付金が原資となったものである。

（目的）

第2条　本基金は、大阪府立豊中高等学校教育後援会規約　第2条「その他発展に寄与する事業」の一つとして、グローバルに活躍できる人材の育成及び充実した教育環境の整備を支援することを目的とする。なお、募金の趣旨に鑑みて本校のみを対象とする。

（委員会の設置）

第3条　本基金による第2条の目的を遂行するため、委員会を設置する。

（委員会の構成）

第4条　委員会は次の各号に掲げるものをもって構成する。

（1）教育後援会会長（1名）

（2）教育後援会副会長（2名）

（3）豊陵会で選任された者（4名）

委員の互選により委員長を選任する。

委員会は委員長が招集し委員の過半数の出席で成立し、出席者の過半数をもって決する。

委員会は本細則の運営に当たって、必要に応じて学校側と相談するものとする。

（審議事項）

第5条　委員会は基金に関する次の各号に掲げる事項を審議する。

（1）基金の運用に関すること

（2）その他基金に関すること

（事業年度及び事業報告）

第6条　本基金の事業年度は4月1日に開始し翌年3月31日に終了するものとする。

委員会は毎事業年度終了後、基金の収支状況及び事業の実施状況を大阪府立豊中高等学校教育後援会に報告しなければならない。

（寄付の受け入れ）

第7条　本基金に対し寄付の申し入れがあった場合にはこれを随時受け入れる。

（改廃）

第8条　この規定の改廃は委員会の審議を経て行う。

（附則）

1　本規約は、令和4年5月21日より施行する。

SGHベトナムフィールドワークご報告

令和5年3月2日（木）～6日（月）の日程で、1年生12名、2年生7名、教員2名の計21名で、ベトナム・ホーチミンでの海外フィールドワークを実施しました。

現地高校との交流・研究発表、NECベトナム訪問、ベトナム戦争の遺構見学などのプログラムを通じ、成長著しいベトナムの現在と過去を体感することができました。また、現地で活躍されているICONIC代表取締役　安倉様の講演や、現地の旅行会社で勤務されている本校卒業生の森本様（44期生）との懇親会で様々なお話を伺い、グローバルに活躍する自らの将来の姿をより明確な目標とすることができました。以下、参加生徒の感想（一部抜粋）です。

「今回のベトナムフィールドワークを通して、海外で活躍する人になりたいと今まで以上に強く感じることができました。同年代の友達もできて、とても幸せで素敵な5日間でした。ベトナムで感じたことを忘れず、将来のためにできることを一つずつ確実にこなしていこうと思います。これから、英語などの基礎科目の勉強はもちろん、自分の将来像について詳しく考えていくつもりです。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。」

末筆ではございますが、今回のフィールドワークに多大なるご支援を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

（SGH研究開発委員会・主担　矢野啓太）

【お詫び】令和3年6月発行「創立100周年記念事業寄付者ご芳名録」の一般寄付に「高31期　桝田陽子」様が未掲載で、申し訳ありませんでした。本号にて改めてお知らせさせていただきます。

高75期生352名が卒業
みんなで歌えた卒業歌

3月1日（水）、卒業証書授与式が体育館で行われた。コロナ禍対策の緊急事態宣言の下、入学式の延期に続く「全国一斉学校休業」という異例の事態で始まった3年間の高校生活を過ごした75期生352名が旅立っていった。在学中は教室内外での授業は元より、文化祭、体育祭、修学旅行と全ての活動面で三密回避を迫られ、生徒、保護者、教職員が常に一丸となり全校生徒に配慮した対応に努めた。その様な経験を重ね卒業していく75期生が選んだ卒業歌は「3月9日」、幸いにして年初よりの三密回避が緩和される社会情勢を背景に、最後の思い出にと卒業生全員による歌声が式場となる体育館内にこだまする卒業式となった。依然として感染予防の継続もあり保護者の出席が制限された式典であったが、式場では中原光子校長が祝辞を述べられ、豊陵会の高坂敬三会長はじめ各来賓の祝辞は今年も式典プログラムに掲載して卒業生に伝えられた。

中原校長は次のような言葉を添えて卒業生に心からのお祝いと教職員を代表して保護者の方々に祝福と感謝の意を表された。「多くの出会いと様々な体験を積み重ねて得た卒業証書は、一人ひとりの弛まざる努力の成果であり、保護者、教員、友人その他の多くの人たちの励ましや支えがあってのものであることを胸に刻み、高校生活で学んだことを糧に確かな足取りで人生を歩んでいってほしい」と。

そして「入学以前には想像もしなかった環境変化の様々な場面で前を向き歩んできた経験を誇りに思い、自分を信じて新しい世界へ一歩踏み出してほしい。ともに学んだ多くの学友との絆を大切に、広く社会全体に目を向け、自分も他人も幸せに生きていける、よりよい社会を創造する力を、これからの人生においても育んでいってほしい」と卒業生への期待を述べ、はなむけの言葉とされた。

（豊陵会事務局）

クラス担任された先生方を学校事務室の前で撮影

令和4年度「北海道修学旅行」写真展を実施

豊陵会による修学旅行の写真展示は、平成17（2005）年度に海外旅行を実施した高59期生に始まり、その後生徒の応募によるコンクール形式を取り入れ内容も少しずつ改善を図ってきた。

令和4（2022）年度は、前年のような新型コロナによる二度の延期もなく、予定通り7月上旬に北海道周遊修学旅行が実施された。8月末締め切りの二次募集まで行った結果、前年並みに27名から55点の応募があった。審査は例年通り高17期の田中伸忠氏に依頼、「豊陵会長賞」の作品1点と「入賞」10名の選定そして全作品への個別コメントと全体講評も頂戴した。

「参加賞」対象を含む生徒コメント付きの全作品を、A3サイズにラミネート処理し審査員講評とともに図書室前の廊下壁面に展示している。更にここの写真に見えるように「豊陵会長賞」には赤バラを添え、その上に審査員の講評を拡大したものも掲示している。

この展示会は出展者への顕賞だけでなく、「それ以外の生徒が見て、豊高生の優れた才能を知ることで、自らも学ぶ機会を提供したい」との趣旨から続けている。このねらいが生徒たちの発達に生かされることを大いに期待したい。

（高20高田裕文　前資料室部会長）

北海道へ修学旅行

7月4日～7日、3泊4日の日程で北海道へ行きました。残念ながらメインであった知床観光船には乗船できませんでしたが、知床観光や北海道の大自然の中で各種体験を行い、有意義な時間を過ごすことができました。

78期生　360人が合格

今年の高校入試合格発表は3月20日（月）午前10時から玄関前通路を使用しました。

今回の志願者は562人、競争倍率は1.56倍でした。

進路指導室から

大阪大学の現役合格が大幅増

令和5年度　大学入試概況

令和5年度の大学入試が終わり、進路指導室が4月21日現在で把握している合格者数の集計結果を別表に示しました。本校HPにも掲載しています。

今年度の結果は、国立大合格者数が昨年度と比べて2名増加しました。東京大学では1名、京都大学では9名（現役3名）が合格し、主に浪人生の合格者数の増加が影響しています。大阪大学は現役、浪人をあわせて47名合格しました。なかでも、現役生の40名の合格者数は過去10年間の中で2番目に多い実績となりました。神戸大学の合格者数は34名（現役25名）でした。

公立大学合格者数は46名（現役39名）で昨年4月に開学した大阪公立大学（旧大阪府立大学・大阪市立大学）の合格者数は33名（現役30名）でした。

「大学入学共通テスト」は、今年度は全国的に平均点が文系理系ともに上昇しました。受験後の結果を受け、最後まで志望を下げずに力を伸ばして受験した現役生が多かったことが、大阪大学の合格者を伸ばした要因だと考えています。国公立大学の総合型選抜（旧AO入試）や推薦入試での合格者は12名で、本校生は昨今の入試制度に柔軟に対応している様子も伺えました。また、私立大学は同志社大学や立命館大学の合格者が大幅に増加したことが特徴です。

在校生である3年生（76期生）は4月の進学希望者が大阪大学への進学希望者が多く、全体の49．4％となっております。また全体の94．5％が国公立大学への進学を希望しており、高い進路意識を持っていることがわかります。このまま第一志望を貫いてほしいと思います。

2年生（77期生）から新課程となり、共通テスト入試科目に「情報」や「公共」などが追加されます。本年の夏ごろから大学も入試科目を公表し、不透明だった部分が判明する予定です。今後も情報収集に励み、教職員の情報共有と生徒への的確なアドバイスの実施に努めてまいります。最後に、各学年数回の進路講演会を企画しております。1年生・2年生の進路講演会では職業観・選択科目を考えていくうえで意義深いものにしたいと考えております。豊陵会および〇Bの方々にいろいろとお願いに上がることもあるかもしれません。そのときはお力添えどうぞよろしくお願いいたします。

（進路指導室）

令和5年度　教職員の人事異動

4月1日付の府教育庁による教職員人事異動が発表された。100周年記念事業実行委員会の総務部会長を務められた藤縄真敬教頭の淀川清流高校ご転勤はじめ12名の教職員が転出され、千里高校からの山下尚紀教頭ご着任はじめ11名の教職員が転入された。

■転出等

教頭=藤縄真敬(淀川清流)、数学=日垣知也(刀根山)、理科(化学)=山中悠平(芥川)、体育=山西佑輔(千里青雲)、英語=前田雅哉(池田)、情報=伊藤友博(豊島)、養護教諭=針田佳純(北野)、地歴公民=古本篤嗣(門真なみはや)、英語=楠山百合(豊中・非常勤)、養護助教諭=日下部尚子(退職)、主査=森岡茂樹(吹田東)、NET=Kim Tony Jeesoo(箕面)

■転入等

教頭=山下尚紀(千里)、数学=松本祐樹(桜塚)、理科(化学)=木村直広(大教大附属池田)、理科(物理)=辰巳　慶(東淀川)、保健体育=白井晶浩(大正白稜)、英語=栗栖規郎(東)、情報=松浦誠治(泉大津)、養護教諭=菊谷知子(箕面)、実習教員=上井里美(新規採用)、主査=乾　恵子(茨木工科)、NET=Main Lisa Jennifer(八尾)

■非常勤講師等

社会=石田省三、数学=林　茂樹、保健体育=岡田浩志、石本美佳

(なお臨任講師ならびに再任用で引き続き勤務される教職員の掲載は省略しました)

■2023年　大学受験の結果速報

【進路指導室。(　)の数字は現役合格者数】

4月21日現在、進路指導室が把握した数値を掲載しています。受験生徒からの報告の集計であり、今後到着する結果報告で数値が変わる可能性があります。確定数値は豊高HPや3年生徒への『進路指導資料』(6月配布)で発表されます。

【国立大学】
北海道3(3)
東北1(1)
東京1
富山1
金沢1
信州1(1)
静岡1
名古屋工業2(1)
三重1(1)
滋賀2(1)
京都9(3)
京都工芸繊維9(4)
大阪47(40)
大阪教育5(5)
神戸34(25)
奈良女子1(1)
和歌山2(1)
鳥取1(1)
岡山3(2)
広島4(2)
徳島1(1)
香川1(1)
九州2(1)
九州工業2(1)
長崎1(1)
大分1

【公立大学】
東京都立1(1)
都留文科1
京都府立3(2)
大阪公立33(30)
神戸市外国語3(3)
兵庫県立4(3)
奈良県立1

【私立大学】
酪農学園5
岩手医科1
国際医療福祉1
日本薬科1(1)
青山学院2(2)
北里2
慶應義塾3(2)
駒澤1(1)
東京経済2(2)
東京理科6(3)
日本獣医生命科学2
法政2(2)
明治5(2)
立教1(1)
早稲田1
金沢医科2
朝日1
豊田工業1
南山4(4)
京都産業11(11)
京都女子1(1)
京都薬科5(3)
京都橘1(1)
同志社166(118)
同志社女子13(12)
佛教1(1)
立命館251(199)
龍谷42(28)
大阪医科薬科13(10)
大阪音楽1
大阪歯科1(1)
大阪工業7(7)
大阪電気通信4(4)
追手門学院2(1)
関西228(180)
関西外国語4(2)
近畿117(87)
摂南7(6)
千里金蘭1(1)
関西学院199(151)
甲南4(3)
甲南女子1
神戸女学院4(4)
神戸薬科6(5)
兵庫医科3(3)
武庫川女子8(5)
大和11(10)
岡山理科1
川崎医科1

【大学校】
防衛医科大学校1

【専門学校】
宝塚市立看護専門学校1
大阪工業技術専門学校1

豊高文化部

■吹奏楽部
▼第61回大阪府吹奏楽コンクール北摂地区大会（7月）にて金賞受賞、代表に。
▼第61回大阪府吹奏楽コンクール大阪府大会銀賞

■軽音楽部
▼イレブンフェスタ（豊中11中）　▼野音（服部緑地）　出演

■音楽部
▼豊陵会総会出演　▼第43回大阪府高等学校芸術文化祭　大阪府合同オーケストラ・合同弦楽として出演。

■ダンス部
▼マイナビ　HIGH SCHOOL DANCE COMPETITION 2023west vol.1準優勝

■美術工芸部
▼第73回高校展（7月）奨励賞4名　吉川千尋　信長彩乃　宮原由衣　渡邉歩美
▼第43回大阪府高等学校芸術文化祭（コンクール展）入選　渡邉歩美　清水夏帆　奨励賞　吉川千尋

■放送部
▼体育大会、文化祭、豊音祭や式典の放送を行っています。

■サイエンス部
▼千里文化センターとのコラボ「豊中高校サイエンス部理科実験教室」
▼SSひろめ隊
▼京都大学ポスターセッション大阪府選考会
▼大阪府生徒生物研究発表会　等の活動を行っています。

豊高運動部

■アメリカンフットボール部
▼2年生（当時）2名が大阪選抜に選ばれる。藤井望　安東利起
▼第77回豊中対池田　定期戦　2022年12月28日　29-0で勝利

■薙刀部
▼近畿大会予選　演技の部4位　近畿大会出場　団体の部　3位
▼第5回吹田市長杯なぎなた大会　演技・競技・段外の部1位・2位・3位
▼新人大会兼全国選抜大会予選　団体トーナメントの部3位

■野球部
▼秋季近畿地区高等学校野球大会　大阪府予選　ベスト32
1回戦　豊中6-1　英真学園
2回戦　豊中10-0　金光八尾（5回コールド）
3回戦　豊中14-0　槻の木（5回コールド）
4回戦　豊中3-4　金光大阪
▼令和4年度第14回北地区公立高校野球大会　優勝
8月　予選リーグ1位突破
11月　決勝トーナメント　準々決勝　豊中14-13　高槻北
準決勝　豊中13-6　池田（7回コールド）
決勝　豊中4-2　桜塚

■卓球部
▼大阪府大会団体　16位
▼北摂大会シングルス　1位

■サッカー部
▼第101回全国高校サッカー選手権大会大阪予選　ベスト32
▼第1回大阪公立校大会　ベスト16

■剣道部
▼大阪高等学校剣道新人大会（1月）個人3位　藤田
▼正思大会（4月）3位
▼大阪府公立校大会（4月）優勝
▼全国高等学校剣道大会大阪府予選（6月）団体ベスト16　個人3位　神原

■女子バスケットボール部
▼U18リーグ戦　リーグ内2位・上位リーグ進出
▼新人大会　北地区ベスト16・中央大会進出

■男子バスケットボール部
▼ウインターカップ大阪府予選、インターハイ大阪府予選等に出場

■女子ソフトテニス部
▼総合体育大会個人戦　ベスト12　中央大会出場　1ペア
▼新人大会個人戦　ベスト8　中央大会出場　1ペア

■男子ソフトテニス部
▼大阪府公立高校大会　8位

■女子バレーボール部
▼春季大会1次予選　1部リーグ3位　1部残留
▼新人大会1次予選　1部リーグ3位　1部残留

■男子バレーボール部
▼豊能地区高校生バレーボール大会　5/3　ベスト8
VS大商学園　0-2（敗）　VS北野　2-1（勝）　VS渋谷　2-1（勝）
VS刀根山　0-2（敗）
▼大阪府公立高等学校バレーボール大会　12/18　5位
VS市岡　2-0（勝）　VS生野　2-0（勝）　VS和泉　2-0（勝）
VS登美丘　1-2（敗）

■男子硬式テニス部
▼大阪高等学校春季テニス大会（団体の部）本戦ベスト32
▼大阪府サマーテニストーナメント第47ブロック優勝　当時2年　川上大揮
▼大阪公立高校テニス大会個人男子シングルス第28ブロック優勝　当時2年　亀田大地
▼2022年度　栗田杯　第3位
▼大阪府スプリングテニストーナメント　予選ブロック優勝　当時3年　宝本喜祥

■女子硬式テニス部
▼大阪高等学校秋季テニス大会予選優勝本戦出場　大阪ベスト16
▼大阪高等学校春季テニス大会シングルス　予選優勝本戦出場　大阪ベスト16　細井さより
▼大阪高校総体テニス大会ダブルス　予選優勝本戦出場　中江心優　田口真帆
▼豊中市民大会優勝　矢野芽衣　廣瀬伊織

■陸上部
▼第75回大阪インターハイ本戦13人7種目出場
男子200・男子4×100リレー・男子4×400リレー→準決勝進出　男子円盤投げ→決勝進出

■水泳部
▼近畿新人大会等に出場

■女子ハンドボール部
▼高校新人大会兼全国選抜予選大会ブロック大会（北地区）第3位

■女子バドミントン部
▼高体連　春の大会・夏の大会・冬の大会、公立校大会等に出場

豊高2022～23

■体育大会
保護者の入場制限はありましたが、やっと通常通りの体育大会を実施することができました。
しばらく間隔が空いてしまったため、例年通りの「流れ」を知らなかったのですが各団で工夫を凝らして各学年の競技やパフォーマンスなどに一生懸命取り組むことができました。

■「豊陵祭」（文化祭）
まだ一般公開できるまでには至りませんでしたが、飲食模擬店が復活したり、劇や出し物の内容もコロナの頃にはできなかった取り組みがたくさんできるようになりました。

東京支部

豊陵会東京支部では、
例年6月下旬～7月上旬に約150名の会員を迎え、
総会・懇親会を開催しております。
関東圏にお住まいの方は、どうぞご参加いただき
懐かしい方々との癒しの時間をお過ごしください。

2019.6.23　総会・懇親会風景

2023 年アトラクション
パーカッション奏者　柳沢マーヤ麻千代さん（高 37 期）

2023年度東京支部総会・懇親会は
7月2日開催予定ですが、
本年度のご参加については
すでに締切させて頂きました。大変申し訳ございません。
来年以降どうぞよろしくお願い致します。

総会・懇親会の最新情報は、右記の【Facebookページ】
からも確認できますので、ご覧下さい。

[FACEBOOK]

【連絡先】豊陵会東京支部　支部長　野村　俊哉（高29期）
E-mail：houryou.tokyo@gmail.com
昨年6月より豊陵会東京支部　支部長を拝命致しました。皆様どうぞよろしくお願い致します。

中部支部

11月18日、総会はハイブリッド形式で開きます
～中部支部会員の皆さん　eメールアドレス登録を～

昨年の中部支部総会は、3年振りに対面で11月に開催する事ができました。オンラインとのハイブリッド形式とし、ご来賓は、対面会場に豊中高校新校長中原様、豊陵会会長高坂様（高16）、オンライン参加で東京支部新支部長野村様（高29）をお迎えし、総勢30名ほどのご参加をいただきました。

対面会場ではソーシャルディスタンスを保った配席でお弁当を召し上がっていただきました。昼食後に、岡野支部長が「オンライン懇話会や春・秋の街歩きなど、参加して楽しいイベント開催に努めます」と述べました。中原校長は、「3年ぶりに開催できた体育祭の閉会式で、思わず『豊高最高！』と叫んでしまった」など豊高への熱き思いを語られました。

恒例の講演会は、元宇宙航空研究開発機構理事の山浦雄一様が、国際宇宙ステーションへの物資輸送機、日本が誇る「こうのとり」について取り上げ、「日本の宇宙開発技術の現状と将来展望」を語っていただきました。初めての試みとして、豊高生にもオンラインで視聴いただきました。ご賛同、ご支援いただきました中原校長をはじめ、多くの関係者の皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

本年度の活動としては、4月22日にオンラインで岡野支部長講師の「小唄・三味線～芸処名古屋～」講演会を催しました。5月と10月にはまち歩きの再開を予定しま

す。詳細についてはメールでご案内いたします。メール未登録の方は、下記QRコードから登録をお願いいたします。

また、総会は11月18日（土曜）に対面・オンラインのハイブリッドで開催します。講演会は“落語”でお楽しみ頂きます。対面参加の皆様には、中部経済同友会発行の名古屋まち歩きガイドブック「ステキ･小粋　まち歩き2」をプレゼント致します。多くの皆様の対面参加をお待ちしています。

最後になりますが、進学、就職などで中部地区へお越しの方は、中部支部へご連絡下さい。皆様のご入会をお待ちしております。

（中部支部せわ人一同/
記：副支部長　高22　寺倉修）

会員登録サイト➡

seen it?」と、ハーバード大のエバンス研で博士研究員をしないかと誘われたのです。その時は京都大学の博士研究員に決まっていたので、お断りしたのですが、もったいなかった、と思い京都大教授の許可を取り、半年後に手紙を書きました。

電子メールだと、教授の目に留まらないかもしれないと思い、名古屋市のシンポジウムで一緒に撮影した写真と、「あの時のお話はまだ有効ですか？」と書いた手紙をEMSで送りました。するとすぐにメールで返事があり、「あの時のOfferはまだ生きてるよ！いつ来るんだい？」と。本当に嬉しかったです。

GO！ GO！ GO！

日本の大学や企業で不遇だったことが、大きな決断に繋がったのかもしれません。渡米は、「Go,go,go!!!」の2005年5月5日。心が折れそうなときはいつも、この日の胸の高まりを思い出すようにしています。エバンス研では「好きに研究していいよ」と夢のような環境を与えられ、研究に没頭。3年間の研究員生活の後、米国で就職先を探し、テキサス大学エルパソ校化学科のAssistant Professorの職を得ました。日本と違って、米国の大学では大学の教員になれば独立した研究室を持ち、研究費用は自分で団体や企業、政府機関に申請し、獲得します。好きなことを自分の裁量でできるアメリカの大学は自分にとても合っていると思いました。英語は主に米国に行ってから習得したのですが、豊高で学んだ英語が本当に役立ちました。

米国の大学の教員生活が天国かというとそうでもありません。日本ほどの女性差別はありませんが、競争も苛烈です。数えきれないほどの紆余曲折の末、この1月からSchool of Medicine（医科大学院）で働き始めました。化学科からの異動ですが、有機化学分野の自分の研究を続け、薬学の教員として医学生に教えています。症例から病名を診断したり、どの治療法、どの薬を処方すべきかを討論したりする授業は、とても楽しいです。学生は優秀で、私自身にとっても刺激になります。大学で薬学を専攻したときの原点に戻ったような気持ちです。

研究というのは、前任者が築いた土台を検証したり、埋めたり、もう一つの石を積み上げたりしていく作業です。1人でも病気で亡くなる人が少なくなるように、長寿をまっとうできるように、医学の進歩に貢献できる教育と研究を微力ながら続けていきたいです。

最近は海外にでる学生が少なくなったということを聞きますが、高校時代、自分が米国に住むとも米国の大学生を教えるようになるとは想像したこともありませんでした。一時帰国して日本の大学で講演をした際に学生から「会社を辞める時、収入の心配をしなかったですか？」という質問を受けたことがあります。収入は大切ですが、それよりもやりたいことをすることの方が大事です。後悔しないよう自分の気持ちを大切にしました。なんとかなると信じていたし、何よりも人と人との繋がりに助けられることが多かったです。人に恵まれたからこそ、やりたい事を続け、幸せに暮らすことができていると思います。

人生は一度きりだし、いつ終わるかわからない。ですので、本当に楽しく過ごすことのできる場所を見つけてほしいと思います。どこからか人は見ていてくれるし、認めてくれる人もいます。人生で、新しくチャレンジするには自分の足元に新しいスタートラインを引く勇気があるかどうか。線を引いたら、よーいドン、って自分に言って走ってみる。そして人生の黄昏になった時、笑顔で自分の人生を振り返れるように今日も頑張っています。

（4月16日、オンラインでインタビュー。聞き手＝村島有紀）

【プロフィール】
大阪大学大学院薬学専攻修士課程修了後、東レに就職。6年間の会社員生活を経て30歳で有機化学の研究に戻り、2004年北海道大学で博士号（薬学）取得。2004年京都大学博士研究員。2005年に米国に渡り、ハーバード大エバンス研究室で博士研究員となる。2008年～2015年テキサス大学エルパソ校化学科、2015～2022年同大リオグランデバレー校Assistant Professor、2023年1月～現職。趣味はピアノ。保護猫5匹と暮らす。座右の銘は“Do or do not. There is no try.”--Yoda
“All our dreams can come true, if we have the courage to pursue them.”--Walt Disney

緑あふれる 市中の山居
HOTEL IVORY
ホテルアイボリー
〒560-0021 豊中市本町3-1-16
TEL:06-6849-1111 FAX:06-6849-7727
URL:http://www.hotel-ivory.co.jp

土居歯科医院
DOI DENTAL CLINIC
歯科・歯科口腔外科・小児歯科
箔面市箔面5-1-52 みのおアルコス3F
☎ 072-721-7996 （阪急箔面駅徒歩３分）
院長 土居敏英 （豊中高校36期）
日本口腔外科学会認定 口腔外科専門医
大阪大学歯学博士
一般社団法人箔面市歯科医師会会長

私の針路

**人はいつ死ぬかわからない。
選択の基準は
「やりたいか、やりたくないか」
いつもそう考え行動しています。**

三刀　静恵さん（高41）
Shizue MITO

米・テキサス大学リオグランデバレー校
School of Medicine, Assistant Professor

高校2年の9月に母親が病気で亡くなり、治療の難しい白血病だったと後から知りました。当時は本人にも病名告知をしておらず、知っていたのは父だけ。「原因不明の珍しい病気」とだけ父から聞いていました。きっと元気になると信じていたので、本当にショックでした。1年前はあんなに元気だったのに、あっという間にいなくなってしまった。この出来事が私の生き方と進路の決定に大きな影響を及ぼすことになります。

研究者を目指す

化学者だった父の影響で幼い頃から、化学が好きだったので、「母の病気を治せるような薬を作りたい」と大阪大学薬学部に進学。修士課程に進んだ後は、有機化学の研究者になろうと博士課程に進むつもりでしたが、当時の担当教授から就職を強く勧められました。「博士まで行ったら、女性に就職先はない」というのがその理由です。1990年代はまだそういう時代でした。修士課程で20人いた同期のうち、女性は1人だけ。男女雇用機会均等法はありましたが、ほとんどの企業の求人には「修士卒・男子」とあり、採用試験さえ受けられませんでした。

その後、東レの化学採用で入社し、「創薬分野での研究職」に就きたいと希望しましたが、配属されたのは分析の部署です。有機化学の研究が大好きで会社でもできると思っていたのでショックでした。異動希望もなかなか叶わず、退社の意思を上司に伝えたところ驚かれ、異動を検討すると言われました。ところが上司が代わり「僕は前の方とは違うから。これからもここで頑張って」と告げられ、退職を決めました。周りからは「お前はアホか」と反対されましたが、仕事だから仕方ない、と思いながら人生の大半の時間を費やすことはできない。私にとって安定した職業は重要ではありません。人はいつ死ぬかわからない。研究者として不利なスタートだと分かっていても、「やりたいことができる」環境を求めて、北海道大学の博士課程に入り直し、薬学の学位を取りました。

運命の出会い

米国・ボストンのハーバード大学に行くことになったのは、偶然の重なりです。運命的な出来事だと言ってもいい。2004年、博士課程3年時に札幌市内で開かれたシンポジウムで「Best Discussion賞」を頂き、副賞として、名古屋市で開かれる学会に招待されました。講演者は、東京大教授と有機化学研究の第一人者ディビッド・エバンス（David A. Evans）ハーバード大学教授。最初の東大教授の講演の後で質問したのがよかったのか、休憩時間にEvans教授に手招きされました。その時の会話は今でもよく覚えています。ボストンと札幌の雪景色のどちらが美しいかという話になり、「How could you compare which is more beautiful if you have never

FRONTEO Drug Discovery AI Factory
バイオロジストが
AIを活用し、創薬支援
FRONTEO
代表取締役社長 守本 正宏（高37期）

ICTシステムエンジニアリング・ワンストップサービス会社
NEC特約店
協和テクノロジィズ 株式会社
取締役兼共同CEO 十河 元生（高10期）
＜本　社＞〒530-0016 大阪市北区中崎一丁目2番23号（協和本社ビル）TEL(06)6363-8800 FAX(06)6363-8809
＜事 業 所＞東京・兵庫・京都・滋賀・奈良・福井・岡山・香川・愛媛
＜グループ会社＞日本テクトス株式会社・協和ビジネスサポート株式会社・日本通信特機株式会社・JAPAN EXCELLENT TECHNOLOGY & SYSTEMS, INC
営 業 品 目
●電気通信設備、電子応用設備、電気設備、消防設備の設計設置工事・修理・保全
●コンピュータソフトウエアの開発及び販売、電子デバイス等の販売
●コンピュータと通信ネットワークのトータル・システム・エンジニアリング・サービス
詳しくは HP でご確認下さい ⇨ https://www.kyotec.co.jp/

悲劇から78年 今も続く慰霊法要

宮川先生と生徒8人らが空爆死した工場で

昭和20年6月7日、戦時体制で当時の三国航空機材に勤労奉仕で派遣されていた豊中中学の宮川先生と生徒8人が米空軍の空爆で死去した悲劇は豊高・豊陵会の歴史に今も語り継がれ「創立百周年誌」にも改めて紹介されている。

だが、戦後社名を改めて再出発した三国金属工業（株）が犠牲者となった従業員とともに生徒を派遣した豊中中学・金蘭会高女生徒たちを含めて41名の追悼法要を78年後の今も「社是」として続けてこられていることを豊陵会関係者も意識していなかった。

戦争の記録を残し伝える活動団体からの情報で、高6上神英二郎さんが「憶念の碑」の世話役を代表する形で昨年6月7日の慰霊祭に参列した（写真）。記録に残ってはいないものの、かつて三国金属工業から慰霊祭開催の案内が来たが、「平日開催では学校として出席できない」と回答したと言われるが、この間、慰霊祭は続けられていた。

中20回生は戦時下の昭和20年3月に卒業されていて、それぞれの針路に向かったものの、戦争末期の状況下で「卒業」後も豊中中学の生徒として勤労奉仕に駆り出された。爆撃に遭った生徒の話は凄惨そのもの。どの防空壕に飛び込むかで運命は紙一重。三国航空機材では咄嗟に左に飛び込んだ人は助かり、右手の人が犠牲になった。宮川先生は最後の生徒が飛び込むまで外で誘導していて機銃掃射の犠牲になったのではないかと言われている。

三国航空機材にいた生徒はもちろん、別の工場からの帰り道に被害を知った生徒（先輩）たちの働きは大変だった。学校に到着した遺体をプールで清めて理科室に安置。宮川先生の遺体は翌日、戸板に載せて野畑の自宅まで運んだ。一家はその後、先生の配偶者の実家である京都府綾部の方に身を寄せられた。

「憶念の碑」できる

こんな歴史を経て中20回生を中心に、亡くなった仲間を追悼し、戦争の記憶を後世に残そうという動きが始まった。

・昭和48年（1973）6月3日＝豊中・看景寺で中20回生により法要

・昭和49年（1974）＝有志により岡上の町の共同墓地に「憶念の碑」を建立。豊陵会有志が世話を引き継ぎ清掃・墓参。

・昭和52年（1977）6月5日＝金蘭会高等女学校と合同で豊中・看景寺で33回忌の法要。

・平成8年（1996）6月＝豊中中学戦没学徒50回忌法要

・平成23年（2011）9月13日＝豊中・看景寺で「憶念の法要」

・平成24年（2012）1月30日＝豊中高校中庭に「憶念の記念プレート」を設置除幕式

・平成24年（2012）6月＝当時8歳・6歳・2歳だった故宮川先生のお子さん三姉妹が豊中を訪問。「憶念の碑」をお参りされたのち、「憶念の記念プレート」をご覧になった。

中20回生はじめ戦争の悲惨さの直接体験を語る人のほとんどは鬼籍に入り、それを伝え聞いた世代も豊陵会活動から去りつつある。「憶念の碑」の意味を伝え続けるのは後輩であるわれわれ豊陵会会員の役目でもあるだろう。

「創立100年誌」から再録

府庁の会議が空襲で中止 校長が帰る途中三国付近で 豊中中学の悲劇知る

昭和20年6月7日　その日、元津千尋校長は大阪府庁内での中学校長会議に出席していた。以下は同校長が1981年4月20日付豊陵会報に寄稿された「忘れえぬこと」の要約である。

＊　＊　＊

会議が始まって間もなく空襲警報のサイレンが鳴り響き爆音が聞こえてきた。「近い所らしい」と思いつつも会議は進行したが、府庁舎にも焼夷弾が飛び込み消火騒ぎになり会議は中止となった。屋上に出て眺めると近くの砲兵工廠は爆破され、物凄い黒煙で包まれていた。市街の西方一帯も黒煙でいっぱい。豊中方面の遠望では異常はないようだが、不安な思いで帰途についた。

電車（市電）は止っている。庁舎西側の道路から御堂筋に出て阪急・梅田に進んだ。阪急電車は運行を止めている。空腹を感じながら疲れた足で豊中に通じる国道（当時は「産業道路」と呼んだ）を歩かねばならない。十三・三国駅を過ぎ、鉄橋を渡って少し進んだとき、道路に人だかりがしていて「豊中中学生が工場で爆死したらしい」と耳にして驚いた。三国航空機材工場だ、と直感した。工場に着いてみると、工場は爆破されており、寂しいほどに静かで無人である。

爆死者が集められていて、宮川先生ら生徒の死体を発見して実に驚いた。国道に戻って豊中中学の生徒が通らないかと目を凝らした。当日、枚方の工廠↖

に出勤している生徒は必ずこの国道を歩いて帰って来ると確信したからである。辛抱強く見張ってボツボツと見つけると、みんな工場に集ってもらった。

建物から剥がした戸板を担架にして爆死者を国道まで運んだ。学校まで運ぶ車を見つけるのに苦心した。国道を走る車は1台もない。夕暮れが迫ってくる。焦燥、悩んでいる時に1台の荷車が豊中方面から近づいてきた。この車を逃がしてはならぬ。交渉ではない、懇願した。車主は「自分は疲れておるし、肝腎の馬が疲れている。早く大阪に戻って休養したい。間もなく日が暮れる。夜中の仕事はお断りする」と容易に納得してくれない。如何に低頭哀願しても駄目である。

「運ぶのは荷物ではない。お国に尽くした尊い神様だ。あなたもお国に奉仕するのだから考え直してほしい。どうか助けてほしい」。何を思ったか、うなずいて馬首を北に向けてくれた。この難儀な交渉に粘ってくれたのは井坂賢一郎教諭（国語科）であった。

学校に着くや物理実験室の実験机に遺体を安置して、遺族の方・職員一同らでお通夜し、馬主は小使室で宿泊した。

終戦間近い昭和20年（1945）6月7日、我々の先輩である中学20回生47名が学徒勤労動員として、豊中市豊南町にある三国航空機材（現三国金属工業株式会社）へ派遣されていたが、米空軍機による絨毯爆撃があり引率の宮川馨先生と学徒8名の殉職者を出し、大惨事となりました。同じ場所で金蘭会高女（現金蘭会学園高校）から5名の方も5名の方が死亡され、会社側からも社員27名が亡くなられました。

戦災から立ちなおった三国金属工業は昭和32年（1957）に会社正面の築山に「戦災者慰霊碑」を建立し、「社是」として毎年6月7日に同社従業員の死だけではなく、勤労動員学徒を含め全犠牲者の冥福を祈り、丁重な追悼と慰霊の法要が今日まで欠かさず続けられてきました。

私はそのことを初めて知りました。豊中高校関係者から今まで一人もお参りされていないので是非出席してほしいとの要請があり、去年（令和4）6月7日に参列してまいりました。当時とすっかり様変りした工場跡に初めて立ち、この場で77年前の悲惨な地獄のような出来事が実際にあったことを思うと心が震える思いでした。法要は社長の挨拶に続いて僧侶の読経に始まり、一人ひとり祭壇にて焼香を済ませました。

この法要には豊陵会としてこれからもお参りを継続して頂ければと思います。今日の平和は戦争で亡くなられた多くの方々の礎のもとにあると思います。豊中・岡上の町にある「憶念の碑」は生死を分けた戦禍の状況を体験された方々からの呼びかけで中学20回生の皆さんによる亡き友への鎮魂と、戦争の悲惨さを後世に言い伝え、残すための建碑です。同じ学び舎で師のもと勉学に励み、友と語り合った若き先輩たちの無念を忘れてはならないと思います。是非、一度お参りして下さい。

（うえかみ・えいじろう＝豊陵会幹事「憶念の碑」世話役メンバー）

三国金属の慰霊祭に参列して

＝太平洋戦争の学徒動員と「憶念の碑」＝

上神英二郎（高6）

「憶念の碑」

岡上の町4丁目共同墓地。阪急豊中駅から国道176号線を岡町方向へ300メートル左手。石段を登って左側の大樹が目印。

ひと

■大阪弁護士会の会長に　高26三木秀夫さん　令和5年度の大阪弁護士会会長に選ばれた。来年3月までの任期。民事・商事問題を中心にしつつ、NPOや公益法人など市民活動分野でも活躍。船場「吉兆」の食品偽装問題で社内調査委員を務めたほか、理研の「STAP論文問題」で小保方晴子研究員の代理人を務めるなどした。就任が決まった記者会見で「弁護士に相談しやすい機会づくりを進めたい」と語った。

■豊中市とコラボ展覧会　高8新宮晋さん　2023年2月18日～3月12日、豊中市立文化芸術センターで「豊中から世界へ　すべてがここから始まった」をテーマに作品展とイベント開催、連続トーク「新宮さんと語り合おう」には豊中高校在学生と高17中川幾郎（帝塚山大学名誉教授・日本文化政策学会顧問）氏が登壇。彫刻制作に限らず多彩な創作活動を続けつつ次世代への引き継ぎということにも思いを寄せておられるようである。

■50周年記念コンサートを開催　高17加古隆さん　フランスでデビューして50年目を迎えられた作曲家でありピアニスト、NHKスペシャル「映像の世紀」のテーマ曲「パリは燃えているか」の作品で広く知られている。2021年には豊中高校創立100周年コンサートが開かれ、本年は全国各地で記念コンサート開催。美しさと感動をもたらす音楽を生みだすことに情熱を注がれ生涯現役をめざしておられる。

■デュオコンサート開催　高24三田浩平さん　2023年5月18日、豊中市立文化芸術センターで「癒しの音を求めて」をテーマに、ご自身のヴァイオリン演奏とピアノ奏者によるコンサート開催、三田医院を開業されながら音楽活動にも非常に熱心で音楽CDも制作。2003年度の豊陵会総会のアトラクションでは高24安蘇真理子さんのピアノ伴奏でヴァイオリン演奏を披露された実力の持ち主でおられる。

豊中（とよちゅう）・豊高（とよこう） いま・むかし
制服編

中学、高校生活のあれこれを、現在と対比してお伝えするこのコーナー、今回のテーマは「制服」です。

●旧制中学校時代

1921年9月 大阪府立豊中中学校として認可される

＊男子生徒のみで黒い詰襟

1922年9月 新制定の帽章着用

1938年12月 下駄・草履を履く場合は足袋・靴下の使用を禁じる

1944年12月 登下校の際、巻ゲートルの着用を規定

＊戦時色が濃くなり、詰襟や国民服の生徒が混在

●高等女学校時代

＊新制高校ができるときに迎えた旧制豊中市立高等女学校の制服はセーラー服

●新制高校時代

1948年 大阪府立豊中高等学校設立、男女共学に

＊女子はジャンパースカートやセーラー服の生徒が混在

1948年9月 男子帽章、女子胸章を配布（緑色のバッジは「青虫」と呼ばれた）

1949年3月 女子生徒標準服が公募により、ジャンパースカートに投票で決定

1950年7月 パーマネント厳禁

豊高の制服の変遷を見守り続けてこられた「(株)中外」に聞きました

昭和50年ごろから、地元企業として豊高の制服を取り扱っておられる、株式会社中外・代表取締役の北之坊恵子様よりお話を伺いました。

学生服を取り扱うポリシーは先代からの教えに基づいたもの。売ったらおしまいではなく着用する学生に寄り添い、在学中のお修理は無料のものも多く、また中学時代の制服やゆずられた制服のお直しなども実費程度で受けてくださる心強い存在です。

この50年で印象に残った出来事はやはり、標準服の着用義務がなくなったこと。当初の自由というよりも乱れた状態から、よく似た中学の制服をリフォームしたり、標準服をうまくとり入れた着こなしをする生徒も少しずつ増え、3~4年で落ち着いたとのこと。やはり服装の乱れと学内の雰囲気は不可分であると感じられたそうです。

制服の思い出

2022年9月18日に開催された豊陵会総会の会場で集まった制服についてのアンケートの回答を紹介します。

◇高校11期　中野　寛成

当時、貧しかったので制服が買えず、中学生の時の制服制帽に校章などをつけかえてそのまま着ていました。制服は日やけで茶色に変色、ボウシはやぶれてつぎはぎだらけ、みんなから「ぞうきん」とよばれた。本人はそれらを誇りにしていたので、イジメにあうこともなく、逆に生徒会長も務めさせていただいた。

◇高校20期　高田　裕文

高20の頃は、女生徒のスカートがモダンでかっこよかった印象があります。1990年代、教員時、事実上、自由服になりましたが、節度ある生徒の服装に好感が持てました。

◇高校27期　三田　浩平

白いシャツに黒のズボン（男子）。青年の頃の質素で清々しい服装は、中・高生時代の思春期の良い思い出だと思います。

◇高校29期　豊田　昌朋

制服はあって良かったと思います。あまり他校と比べて特徴があった印象はないです。たぶん校章、金ボタンがついていて、夏白シャツは校章が刺繍されていたと思います。思い出は、学校の裏の公園で友人と制服姿でうるさく遊んでいて、近くの住民に通報されて逃げた記憶があります。やはり制服だとすぐわかってしまったと思います。

※服装、制服に関わる出来事を創立百周年記念誌から抜き書きしました

1960年
1年D組より、女子生徒標準服デザイン改良の意見が生徒議会に提出され新標準服が決定

1961年4月
1年生より順次、新標準服に移行

1971年12月
生徒心得審議会発足
1971年から1974年にかけて、生徒心得審議会にて制服自由化の問題を審議。この頃箕面高校、池田高校では服装が自由化された

1975年1月
自由化論議はいったん打ち切られ、制服問題決着

1979年
男子夏服の校章を義務づけ

1980年以降
日常的な生活規律がルーズになり、服装基準を逸脱する生徒が目立つようになる

1983年10月
生活指導係より生徒に自覚を促す。服装基準に関する呼びかけが行われる

1995年
標準服は残すが、着用義務をなくす。制服と私服が混在する時代が始まる
＊豊中第11中学校などで服装自由化の動き
＊49期生が「個性化、多様化」の新教育課程第1期生であった

2011年4月
新制服採用
＊文理学科スタートにあわせ、主に学校側からの提案で、制服化。制服デザインの検討が行われた

2013年
セーター、カーディガン、ベストが学校指定のエンブレム入りのものに統一、ブレザーは着用しなくてもよい

2018年
能勢高校が豊中高校能勢分校となり、豊中高校と同じ制服となった

2023年4月
現在は2011年の新制服の着用が継続中

◉投稿から

「制服がない？」

高校51期　谷口幸恵

合格発表の喜びさめやらぬ気持ちで臨んだ入学説明会。わくわくしながら聞く説明の中で一番驚いたのは、制服が廃止されていたことでした。憧れの豊高に受かったのに、制服が着られないとがっかりしていたら、「標準服はあります」とのこと。つまり制服は着ても着なくてもよし。

これにより夏はブラウスの代わりにTシャツと標準服のスカート、冬の寒い日はセーターに私服のズボンと気温に合わせて自由に組み合わすことができ、快適な学校生活を送ることができたのが、良い思い出です。

現在の制服のデザインをされた小出君子さん（高校13期）が、新制服について語る

（記念誌より抜粋）

創立90周年を迎えた豊中高校は、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けるとともに大阪府の進学指導特色校10高のうちの1高に選ばれました。この区切りの年、50年ぶりに生徒の制服を改定して新しいスタートを切るのは大変意義のあることだと思われます。

長く素晴らしい伝統のある豊中高校に「誇りを持って着る」ことのできる制服を着て通学できることを願いデザインしました。

男女ともにこれまでの豊高制服にはなかった斬新さを表現して、ますますの発展を願うものといたしました。細部には豊高の伝統色であるヒマラヤ杉の深いグリーン、銀杏のイエロー、校旗のエンジ色を生かしています。

（編集者・注）小出さんは昭和35年の制服改定の時も、生徒としての制服についての意見を発表されたそうで、現在も豊中高校の近くで服飾関係のブティックを経営されています。

■ 高8「清和会」渓のサクラを観る会

新型コロナ感染禍が完全に収まらない時期ですが、今年も3月27日（月）にここ約10年間渓のサクラを観る会として続いている「清和会」メンバー高8期9名（当日体調不良2名欠席）が集まりました。会場は川西市の指定文化財になっているエドヒガンの群生地（兵庫県のレッドデータブック・絶滅危惧種）で満開のエドヒガンを満喫いたしました。この地には植栽木累計150本、自生木約150本が生育しています。

（注：日本各地で咲くサクラは大半がソメイヨシノですが、この品種は母をエドヒガン、父を日本固有のオオシマサクラとの交配で生まれた日本産の栽培品種です）。

この地で活動する「渓のサクラを守る会」は平成20年に結成されました。主たる活動としては①エドヒガン群落や樹木、山野草を適切な保護・植栽・間伐し、生物多様性の森をつくること、②地元の小・中学校の児童、生徒を対象とする環境体験学習を支援し、市民を対象とする渓のサクラの公開など楽しい行事を催し、心優しい人と豊かな自然が交わる「ふる里の森」を作ることになっています。

（一般公開日＝3月25日～ 4月3日）今年は市民に大変人気があるとの情報を得られて、この地区で名前が知られ、記念植樹もされている元兵庫県知事、現川西市市長が花見に来られました。

今回参加された高8期会員全員が85歳になっており、活動地に流れる猪名川の谷間に杖を使う人もありながら下りた後、全員で準備された弁当を食べ、雑談を交えながら約2時間の楽しい時間を過ごしました。全員が加齢に伴う衰えを感じながら、来年もまたこの活動地に一人でも多くの会員が集まって再会出来ることを期待しながら散会いたしました。（西詰賢司）

■ 高9期D組クラス会　4年ぶりの開催

2004年、大方の者が退職したのを記念しクラス会を開催。以後、隔年に集まることにしていましたが、コロナ禍のため4年ぶりの開催となってしまいました。

卒業時51名の内17人が天国へ、住居不明・認知のため出席不可など、案内が送れたのは約半数でした。それでも12名の参加で、健康状態をはじめ級友の情報などなど、4時間！にもわたり歓談はつきませんでした。次回は、全員が数え年で米寿記念の会になる予定です。

（千知岩　哲郎）

■ 高18期　燦K会
令和5年3月31日　大阪天満橋の料亭にて

Ⅲ―Kをもじって「燦K会」と名付けられたクラス会が16名の参加のもと3年半ぶりに開催されました。

初めての開催場所ゆえに、いくつかの集合場所から幹事に引率されながら無事全員集合し、先ずは近況報告から。

思えば、2001年に卒後35年ぶりのクラス会が開催されて以降、出張者を交えて関東支部にて、また大阪では関西本部以外に女子会での会食等も。さらには合宿と称して浜松（関東と関西の中間地点）で宿泊会合など、記録を辿るとなんと今回の「燦Kお花見会」は92回目の開催でした。

この間、連絡先が分かりやっと参加できた方も一瞬で豊高時代にタイムスリップし、何の違和感もなく会話が弾むなど本当に良いクラスだったな、と今改めて思っています。

（辻　正男）

■ 高24期3年F組　卒業50周年のクラス会

令和4年11月27日に高校24期3年F組のクラス会を大阪・梅田で行いました。卒業50周年にあたる令和4年のうちに皆が集まれる機会を何とか持ちたいという趣旨で、万全の感染症対策を行った上で開催しました。関東からの3名を始め参加者17名の盛会でした。懐かしい話に盛り上がり、久しぶりに直接会って話ができる場は貴重であり、実に愉快な時間を過ごすことができました。万全の感染症対策のはずが、最後の集合写真は超密になってしまいました（笑）。

（幹事代表　大谷英明）

■ 高32期　恩師を招いて第8回同期会を開催

令和5年1月3日に、ホテルアイボリーにて第8回同期会が開催されました。恩師の酒井先生、長瀬先生をお招きし、同期生50名参加のもと終始和やかな雰囲気の中2時間半の宴があっという間に終わりました。コロナ禍なのでパーテーション有りの個食と少し物足りない条件でしたが、楽しい時間を過ごす事が出来ました。次回は、3年後の令和8年1月3日を予定しております。皆様ぜひご参加下さい。

（代表幹事　北原千春）

■ 高73期　成人式祝賀の同窓会を開催

成人式を迎える令和5年1月6日に、ヒルトン大阪にて成人式祝賀会を兼ねた同窓会を開催しました。71期、72期の先輩方はコロナ禍で学年全体での会を見送っていたため、豊中高校としては3年ぶりの学年開催となりました。5人の先生方にもご参加いただき、総勢231名が集まりました。立食形式にこだわり、とにかく会話を楽しめるように工夫したため、あちこちから笑い声が聞こえるにぎやかな会となりました。さらに成長してから、また集まる機会を作れたらと考えています。

（代表幹事　原野万穂）

同期会のお知らせ

■高35（1983年卒業）「卒業40周年記念会合」

2023年9月17日（日）　11：00 ～ 15：00　会場は母校である豊中高校食堂にて執り行います。詳しい情報が知りたい方は、卒業時在籍クラスと氏名記載の上、B組高浦慎治（takaura@kajima.com）まで、ご連絡下さい。開催内容、注意事項等伝達致します。

■高24　同窓会　（昨年開催予定の「卒業50年記念の会」に代えて）

2023年9月30日（土）　13時～ 16時　ホテルプラザオーサカ　1F「雅」の間　（大阪市淀川区新北野1－9－15　TEL06－6303-1000）各クラス幹事への出欠のお返事は7月末までにお願い致します。

（芳本・深井）

■高30　「卒業45周年学年会」＜5年ぶりの再会＞

2023年10月8日（日）　11時～ 15時　2次会：15時～ 17時　会場はいずれも、ホテル・アイボリー　後日、案内書を送付します。住所変更などは豊陵会事務局またはクラス幹事にお知らせください。

（幹事　永井　裕）

■高39　「36周年同窓会」　6年10 ヶ月ぶりに開催します。

2023年11月3日（金/3連休初日）　1次会15:30 ～ 17:30 ／受付15:00 ～　2次会18:00頃～ 20:00（同じ会場）　会場：中之島ソーシャルイート アウェイク（大阪市中央公会堂地階）　（詳しくはクラス幹事または繋がっている同窓生に問合せ願います）

同期会クラブだより

■ 昨年も池田高との定期戦に勝利のアメフト

2022年12月28日、吹田市MKタクシーフィールドで池田高校との定期戦が行われました。日本で初の高校（当時は中学）試合が1946年12月28日に豊中―池田間で行われ、6対0で豊中が勝利したとの記録が残っています。また、翌年の第1回毎日甲子園ボウルで初代中学フットボール王者として豊中が池田中学に14対0で勝利しました。

昨年は甲子園ボウルで70期の芝山武志さんが全国トーナメント優秀選手として表彰されました。

さて、定期戦の方は＃99柴崎君の独走TD＃82安東君へのTDパス、＃4西村君の2TDなどで池田高校を圧倒し29 ― 0で勝利しました。今年も年末12月28日にMKタクシーフィールドで行う予定です。皆様の応援を宜しくお願いします。　（高23　柴田　尚）

■ 剣道部創部百周年の報告

豊中中学・高校剣道部は1922年（大正11年）創部で、2022年度が百周年となります。そこで、本年3月25日に豊剣会主催の「創部百周年記念大会および祝賀会」を開催いたしました。OB・OG会である豊剣会は毎年3月に豊剣杯争奪大会を開催し会員・現役部員の交流を図るとともに、現役生へ合宿援助等の活動をしております。

百周年記念第1部の豊剣杯争奪大会は、豊高柔剣道場にて現役部員とOB・OGが3人の即席チームを組み9チームで団体戦。和やかな雰囲気の中にも熱戦が繰り広げられ、入賞チームには賞品が授与された他、卒業生には面手拭、現役部員には竹刀が贈呈されました。

第2部は場所をホテルアイボリーに移し、高10期～74期まで総勢32名が集まり創部百周年を祝いました。並河徹也事務局長（高29期）の司会のもと、大芝信雄会長（高16期）の挨拶から園山哲夫先生（昭和52年～平成3年まで顧問）の祝辞と続き、OB・OGから当時の練習や試合、懐かしい先生や先輩の思い出、近況報告等楽しいスピーチで大いに盛り上がったところで、最後は全員で校歌を斉唱し豊中高校の発展と剣道部の活躍を祈念して閉会となりました。

■ バスケットボール部OB・OG会/籠友会

籠友会は毎年3月に総会を開催しています。現役選手との親睦試合・総会・懇親会と予定しております。本年度は創部100周年の記念すべき年となります。詳細が決まりましたらご連絡させていただきますので、ご連絡がつかない方、Facebook籠友会グループに入会希望の方はご連絡ください。

（高48古澤頼秋　TEL 090-5159-6430
高48門脇徹也　アドレス　strawhat.t.sunny.5@gmail.com）

2023年3月総会

■ 3年ぶりの高八会総会 今後は自由参加の茶話会に

新型コロナの感染拡大のため2年間開催を見送った高八会を今年（令和4年）は、毎年4月の第2月曜に開いていたのを2か月ずらして6月13日に、いつもの千里阪急ホテルにて開催。例年50人余りの出席者だったが、今回は32名であった。

やはり東京などの遠方からの来場はほとんどなく、いささか寂しい総会となったが、それでも昼食を取りながら話がはずんで2時間はあっという間に過ぎた。総会としては今回をもって終了とし、来年からは6月第2月曜日の午後、各自自由に同ホテルの2階、「さくらラウンジ」で集まることとした。本人のみならず、連れ合いの体調不良などもあって、外出が難しいという人も少なくないが、何とか健康を維持して一人でも多くの人の来場を切に願っている。（幹事代表・牧　雄彦）

■ 関東高八会

コロナ禍の中、2022年10月29日（金）、新宿住友クラブにて関東高八会を開催しました。参加者は10名。（参加者名は写真参照・敬称略）

昼食をとりながら、コロナ禍の中、大阪からはるばると参加の神保雅明君からは、①豊陵会の現状報告　②豊陵会報の責任者に再度なったことなどの報告があり、各参加者からはコロナ禍での生活状況の報告を受けました。お互いに、健康を維持して、元気に毎日を過ごし、コロナ禍に打ち勝つことを約して解散しました。

◎2023年度の関東高八会は10月27日（金）開催予定（開催場所は例年通り「新宿住友クラブ」です）、多数の参加を希望します。

（幹事：中野　裕）

（後列左より）
仲隆弘、早川泉、伊達仁彦、八色賢典、神保雅明
（前列左より）
江野脇正義、二井内昭禎、中野裕、杉浦篤、高田雄彦

会員の本　【前号発行以後に著者から寄贈された新刊書を掲載】

大助物語　二つの夢を叶えた男の青春記
（高32小寺祥文（筆名）青木而今、ブイツーソリューション　2022年11月10日　455円＋税）
アマチュア作家としてのデビュー小説　「NEW　HERO登場　仕事も趣味も全力で謳歌する人生の達人「大助」の実話に基づく必勝の青春記」（帯書きより）

WHM　Work　Health　Management
（高14　中野英機、遊学社　2021年7月23日　1,000円＋税）
著者35年間の経営コンサルタント活動で得られた知識と実践経験をもとに「仕事しながら健康アップ」を提唱、基礎編・実践編・応用編と順を追って具体的に解説。2005年には、働く人たちが「社業発展」に向け短期間で目的を達成し豊かな人生を送れるようにと『目的学』を出版。

4達人が語る！至極の英語授業づくり＆活動アイデア
（高47　山岡大基　他共著、明治図書出版株式会社　2022年10月　2,300円＋税）
広島大学附属中・高等学校教諭、県立広島大学非常勤講師、現任校ではSSH事業で科学英語や批判的思考の指導・教材開発にも携わる。著者座右の銘「トンビだからこそタカが生める」

英語授業デザインマニュアル
（高47　山岡大基　他共著、大修館書店　2023年2月1日　税込2,530円）
英語授業を作る（教材研究→授業準備→授業）、英語授業を深める、英語授業を磨く　の3部構成の流れで、児童生徒を確かな学びへ導く授業づくりを詳細に解説。（帯書きより）

橋をデザインする
（高30　松井幹雄　他共著、技術堂出版株式会社　2023年3月1日　税込2,860円）
橋をデザイン（設計）するにあたっての哲学を、豊富な図版とともに、8つの視点でオムニバス形式に記した、数式等は出て来ない読み物。著者は第4章「未来を拓く設計を目指して」を担当。（著者からの紹介メッセージより）

神戸・生田の杜から日本を考える
（高5　加藤隆久、アートヴィレッジ　2023年3月30日　1,200円＋税）
生田神社名誉宮司・神戸女子大学名誉教授、傘寿を超え、卒寿を迎えるまでに、生田の杜にあって日本を思う一端を語り記してきた記事などのまとめ。国際貿易都市の神戸で神職として学者として長年歩んできた著者の実感「神社は人々が交わるセンター」への読者の共感を願い出版。

派遣先に知ってほしい派遣法の実務
（高35　中村文彦、株式会社労働新聞社　2023年4月25日　税込1,870円）
派遣先の会社で必要かつ十分とする内容の情報を厳選し、Q1～51＆Aというわかりやすい形のまとめ。

◆表紙のことば　想い出は断片的でとりとめがなく…　思いつくままに描きました。美術部の仲間とは今も2年に一度、石橋の「ぶらんしゅ」で作品展（ぷりずむ展）をやっていて、豊高の卒業生の方々も、たくさん観に来てくださいます。毎回まるで幼なじみのように話がはずみます。それは、ちょっと苦しかった「あの頃」からは想像もできなかった私の未来でした。　高19期　長谷川（岡地）綾子

■辻本玲さんを応援する会の参加者募集

わが校54期の辻本玲さんは2020年12月にNHK交響楽団首席チェリストに就任し素晴らしい演奏を披露している。筆者は豊陵会総会で辻本さんの演奏に魅惑され若き有能な後輩の活躍に期待し、応援する会を立ち上げ毎月メルマガを発行、彼の演奏活動紹介とメンバーの楽しい音楽談義を掲載している。現在は筆者と同期の方が中心だが音楽好き、チェロ大好きの仲間を募っており、希望者はメールでjsekizaw@tc.catv.ne.jpに連絡ください。　関澤　純（14期）

■豊陵会の新任役員（2022年4月以降の任命）

会　長
平野　裕一（高32期）
副 会 長
名和　道紀（高30期）
古川　圭子（高37期）
財務幹事
森　　拓哉（高46期）
会計監事
橋田　　浩（高32期）
幹　事
永田　武全（高15期）
松本　耕一（高46期）
評 議 員
高田　一弥（高74期）
高75期同期会世話役
望月　　魁　山口　竜弥
出雲　航基　西田　剣翔
神原　康佑　谷埜　　碧
田中　優芽　鳥居　勇晟
清水　継太　山本　喜文
近藤祐見子　坂東　　侑
松本　和実　宮田幸太郎
伊藤　純大　稲川野乃香
上田菜々香　岡田　悠音

豊陵会協力金の振込方法について

平素は何かとお世話になりありがとうございます。現状の郵貯振替口座か三井住友銀行口座への振込方式について、コンビニ払やクレジット払など多様化のご提案を受けることが多くなっています。協力金は、会費制度のように定額徴収でなく、また新たなシステム採用による経費増を含む課題もございます。一方で現状の振込方法では手数料の負担増や便宜性の問題もございますので、より良い方法を求めて今後検討を進めてまいりますので、引き続きご支援お願い申しあげます。　（事務局より）

編集後記　温暖化の影響や地殻変動で激変する可能性やわが国では少子化や食料自給率が懸念されています。また体制の違いにより戦乱が拡大することも心配です。これからの時代、充分気をつけておすごしください。できれば会員の皆様　村上優さんや今号の三刀静恵さんのように海外も視野に活躍し、平和に貢献される方が一人でも多く増えるよう望みます。豊陵会は会長をはじめ幹部が若くなりました。いろんな新しい企画が催されます。会報は会員の活躍や母校のさらなる発展を伝える役割を担いますが、特に若い方のお力添えをいただきたく存じます。発足した教育基金と協力金にも併せてご支援くださいますようお願いいたします。（お）

今号の編集部　高37古川圭子（担当副会長）・高46松本耕一（部会長）・高48古澤頼秋・高41村島有紀・高37南里吉彦・高32菅祐子・高29蛯名美佳・高29岩﨑玲子・高21伊藤晴康・高9大久保孝・高8神保雅明

服部天神宮

豊中市服部元町1-2-17　TEL 06-6862-5022
（阪急宝塚線　服部天神駅下車東すぐ／国道176号線沿い）
生田神社 名誉宮司　加藤隆久（高5期）
服部天神宮 宮司・服部幼稚園 理事長・園長　加藤芳哉（高29期）
加藤知徳法律事務所 弁護士　加藤知徳（高33期）
服部天神宮 禰宜・服部幼稚園 主事　加藤大志（高61期）
足の神様 合格祈願

豊陵会　2022年決算及び2023年予算

2022年豊陵会一般会計決算

収支計算書　(自 2022年1月1日　至 2022年12月31日)　(単位：千円)

収入の部	決算	予算	支出の部	決算	予算
前期繰越収支差額	3,513	3,513	豊陵会報発行費	3,752	4,000
豊陵会協力金	4,282	4,500	総会開催費	601	1,300
一般会費収入	3,114	3,150	学校行事支援金	0	200
寄付金	120	300	卒業記念品贈呈費	302	330
会報広告収入	0	400	豊陵会報部会	7	200
総会出席会費収入	546	300	豊陵資料室	148	110
総会時販売等収入	0	100	IT推進部会	0	100
利息収入	0	1	東京支部補助金	150	150
雑収入	219	5	中部支部補助金	100	100
			事務局費	2,082	2,500
			諸会議費	425	800
			事務機器使用料	496	500
			事務用品備品購入代	159	500
			事務局光熱費	151	120
			電信電話料	96	140
			通信費	110	400
			交通費	16	50
			慶弔費	0	40
			振込手数料	157	300
			雑費	1	10
			次期繰越収支差額	3,044	419
合計	11,795	12,269	合計	11,795	12,269

貸借対照表　(2022年12月31日現在)　(単位：千円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
現金	32	負債の部	
郵便振替	2,334	小計	0
普通預金	3,563	正味財産の部	
定期預金	12,036	運営準備金	3,000
仮払金	100	積立金	12,021
(仮払金は部会費の翌年繰越金額です)		次期繰越収支差額	3,044
		(内当期収支差額)	(-469)
		小計	18,065
合計	18,065	合計	18,065

2022年豊陵会記念事業特別会計決算

記念事業特別会計は、2022年12月31日現在、4,360千円です。(決算期間中の収支変動は受取利息37円です。)

2023年豊陵会一般会計予算

収支予算書　(自 2023年1月1日　至 2023年12月31日)　(単位：千円)

収入の部	予算	前年度予算	支出の部	予算	前年度予算
前期繰越収支差額	3,044	3,513	豊陵会報発行費	4,000	4,000
豊陵会協力金	4,300	4,500	総会開催費	1,300	1,300
一般会費収入	3,150	3,150	学校行事支援金	100	200
寄付金	200	300	卒業記念品贈呈費	370	330
会報広告収入	400	400	豊陵会報部会	200	200
総会出席会費収入	600	300	豊陵資料室部会	110	110
総会時販売等収入	100	100	IT推進部会	100	100
利息収入	0	1	東京支部補助金	150	150
雑収入	50	5	中部支部補助金	100	100
			事務局費	2,400	2,500
			諸会議費	700	800
			事務機器使用料	500	500
			事務用品備品購入代	500	500
			事務局光熱費	170	120
			電信電話料	130	140
			通信費	300	400
			交通費	50	50
			慶弔費	40	40
			振込手数料	200	300
			雑費	10	10
			予備費	414	419
合計	11,844	12,269	合計	11,844	12,269

2023年　豊中中学・豊中高校
豊陵会総会のご案内

私たち吹奏楽部、略してトヨスイは、現在3年生を含めて94名の部員数で活動しています。昨年度は、夏の吹奏楽コンクールや5月の定期演奏会に向けて頑張ってまいりました。「聞いていただく皆様に喜んでもらえる演奏を」をモットーに、トヨスイらしい明るくパワフルなサウンドを作ることを心がけています。これからも、支えてくださる先生方、保護者の皆様、地域の方々への感謝を忘れずに日々精進して参りますので、今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。今回はお招きいただき本当にありがとうございます。当日は先輩方に喜んでいただけるよう心を込めて演奏いたします。（写真は、第36回定期演奏会・豊中市立文化芸術センター）

日時　2023年 9月23日（土・祝）　14：30～16：00（受付14：00）

※新しい試みとして、総会に先立ち13：00 ～ 14：00、総会参加者で希望される方には、母校（豊陵ホール・豊陵資料室）を見ていただく**学校見学会**を開催しますので、こちらにもご参加ください。

会場　**ホテル アイボリー**　3階オーキッドホール
（阪急豊中駅前・☎06-6849-1111）

会費　3,000円（茶話会形式）

ホームカミング	卒業10年・25年・50年（高65期、高50期、高25期）	優待　会費	1,000円
新卒～卒業5年	（高71期～高75期）	招待　会費	無　料

≪クラス会・同期会の案内≫

総会後は、クラス会・同期会に集まりましょう！

※新しい試みとして、総会後のホテルアイボリーで『クラス会・同期会』を開催していただけるよう設定しています。この機会に計画をしていただければ幸いです。

当日　16：30 ～ 18：30
会費　7,000円
内容　宴会メニュー（ドリンク付き）

個人、グループを問わず、総会出席とは別に豊陵会事務局にお申込みください。

総会等に出席ご希望の方は、8月25日（金）までに豊陵会事務局にご連絡ください。

お申し込み方法

- FAXの場合は、同封の用紙を使って06−6849−4973
- メールの場合は、office@houryou.org
- 電話の場合は、06−6849−4973（月水金の10時～ 15時　常駐）

●会員数（2023年4月末日現在）
卒業生数 38,088人／旧職員 887人
現職員 115人／連絡可能者数 21,712人
●会報発行部数
発行部数 23,500部／会員発送数 22,300部／学校配布 1,200部

編集発行　豊陵会報編集部（大阪府立豊中高等学校・豊陵会事務局内）
発　行　令和5年6月25日　発行人　平野　裕一
事務局　〒560-0011　豊中市上野西2丁目5番12号（大阪府立豊中高等学校内豊陵会）
☎（06）6849-4973（FAX兼用）　ホームページ　https://www.houryou.org
メールアドレス　office@houryou.org
デザイン　風屋合同会社　印　刷　株式会社広済堂ネクスト